

multilingual translation >
音声読み上げ・多言語翻訳は
「カタログポケット」で



みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広
報

よなご

3

2025
March
No.240



特 集

デジタルで自治会活性化！

デジタルで 自治会活性化!

住吉地区の旗ヶ崎二区自治会では、誰もが負担なく、楽しく参加できる自治会をめざして取り組んだ結果、自治会加入者と、行事への参加者の増加につながりました。改革の鍵となったのは、自治会の公式ラインです。今回は、旗ヶ崎二区自治会の改革の道のりをご紹介します。



旗ヶ崎二区自治会…略して 旗二 (はたに) !

自治会加入世帯は約350世帯。自治会活動の負担軽減に取り組み、その一環として公式ラインを導入。令和5年鳥取県頑張る住民自治活動団体等知事表彰を受賞。

自治会解散の危機

旗ヶ崎二区自治会は、3年前に自治会解散の危機に直面しました。理由は、役員の成り手がいなかったこと。旗ヶ崎二区自治会の坂本さんは「ずっと成り手がいなくて、何年も同じ人が耐えながら続けてきた状態だった」と振り返ります。「役員は負担が大きくて、できない」と誰もが口をそろえる状況に、「自治会を変えたい」と坂本さんは周囲に声をかけました。当時副会長だった三原さんはその姿に感銘を受け、会長として仲間と共に立ち上がりました。

役目に大きな負担感

自治会活動の中で、特に役目に対する負担感が大きいと感じた坂本さん。「実際に、とある行事があつて部員に参加を募ったところ、誰も参加者がおらず部長が困っていたことがありました」と振り返ります。

一方で、三原会長は当初、事業

—義務的な役目をなくすと自発的な行動につながった—

部の廃止に反対で、「それまで形式的にでも集まっていた部がなくなると、コミュニケーションもなくなるんじゃないか」と懸念したと言います。また、「部を廃止したら、誰かに負担が偏るのではなか」という反対意見もあったと言います。「いきなり廃止するのではなく、試しに廃止してみよう」と、会員からの9割の賛成を受け、1年間の試行期間を設けることになりました。

負担を減らし楽しく

廃止に向け、役員がいなくても成り立つよう事業を見直しました。どうしても人手が必要な場合は協力者を募ります。自治会員の長谷川さんは「今までは逆に、役員でなければ関わりづらいところがありました。役員がなくなつて、手伝つてと誘ってもらえるようになりました。地域に必要とされるとうれしい!」と喜びます。坂本さんも、「役目として嫌々ではなく、本当にその事業を盛り上げたいと思う人が来てくれるようになった」と評価します。

また、負担軽減だけではなく、参加者が楽しめるように事業を再考。小正月の「とんどさん」は火

楽しく・負担なく 旗二レボリューション！



「とんどさん」では温かい飲み物やお汁粉、コーンスープを振る舞う



住吉地区で実施されている花の苗を配る事業は、希望者に取りに来てもらう形に



新たに餅つきを企画すると、家に臼と杵があるから手伝うよ、とありがたい申し出が



子ども会の催しだった納涼会を、自治会主催にして子育て世代の負担軽減、参加者増に

「楽しくないと旗二じゃない！」
が合言葉です！

旗ヶ崎二区自治会

会長 三原さん（写真右）

役員 坂本さん（写真左）



否定したり 責めたりしない

住民は地域から逃れることができません。自治会内で対立してしまうと、お互いが住みづらくなるだけです。

何かを変えようとしたとき、従来のやり方を否定したり、過去の過ちを責めたりするのではなく、「このほうが楽しいから、こうしたい」と提案するようにしています。

また、自治会費をもらっている以上は、全員にメリットのあることをしたいので、一部だけで方針を決めるのではなく、できるだけ幅広い世代に意見を出してもらうのが重要だと考えています。

副会長
中尾さん



部がなくなって より参加しやすく

もともと、自治会のさまざまな役員を夫婦共々務めてきましたが、部をなくすことには賛成でした。

というのも、例えば体育部をしたいなと思って、自分たちの班は人数が多いため、輪番制にすると次に回ってくるのに十何年かかるのです。加えて、何かの体育行事が催されることになっても、役員でないと出にくいな、と感じていました。部はなくなったことで今までより協力しやすくなり、「手伝って」と誘われて、手伝うと喜んでもらえることがとてもうれしいです。

長谷川さん



を焚くだけでなく、有志によって温かい飲み物やお汁粉、スープを振る舞うなどした結果、参加者が増え、盛り上がるイベントの1つになりました。「ほぼ役員だけが参加するような新年会はやめて、みんなが参加しやすい形に変えた」と坂本さん。副会長の中尾さんも「自治会費をもらっている以上、みんなが喜んでくれる活動

していきたい」と志します。坂本さんは「義務的な役目をなくしたことで、心や時間にゆとりが生まれ、手伝おうという自発的な行動につながった」と分析します。試行期間を経て、事業部の廃止により特に大きな問題はなかったとして、書面評決を実施した結果、4月からは正式に廃止となることになりました。

魅力は便利なメニュー表示！

旗二ライン大解剖！

スマホは一生持たないと思ってた

私はガラケーで満足していたので、スマホは一生持たないと思っていました。でも、「旗二だより」が楽しくて、スマホを持つことにしました。操作がわからない時は、スマホのお店で聞いたり、町内で人に会ったときに聞いたりして、だいぶレベルアップしました！今ではラインのスタンプも駆使して、町内の方と今まで以上に楽しくコミュニケーションが取れるようになりました。旗二は私の宝物です。

小西さん



回覧を見る

「旗二だより」をはじめ、公民館や小学校からのお知らせなどの回覧物をスマホで読める

活動を知る

自治会の活動の様子や雰囲気を動画で見ることができる

役員に連絡

不幸があったときなど、問い合わせの種類別に連絡先をまとめたページが閲覧できる



火災はどこ

消防団を招集するサイレンが鳴った時など、どこで火災が発生しているかが確認できる

防災無線

防災行政無線の放送内容を文章で確認できる

防災を知る

防災士でもある坂本さんが作成した地区独自の防災マップや防災の知識が確認できる

毎月楽しみ「旗二だより」

自発的な自治会参加が増えたもう一つの要因は、新たに始めた「旗二だより」です。自治会からのお知らせだけでなく、行事がどのように盛り上がり、誰が協力してくれたかなどが楽しく書かれ、月一回発行されています。

会員の小西さんは「旗二だより」の「大ファン」を公言し、「読み始めてから自治会のことがよくわかるようになって、自分も協力したいと思うようになった」と話し、「毎月の楽しみ」と目を細めます。「旗二だより」は坂本さんが作成していますが、これをいつでも何度でもゆっくり読めるよう、導入したのが自治会の公式ラインです。

ライン導入で情報届く

公式ラインとは、スマホでメッセージをやり取りできるアプリ。ラインを使って、主に企業や店舗などが登録者に直接情報を配信するものです。月に配信できるメッセージ数に制限があるものの、誰でも無料で作成できます。

公式ラインは、登録者の情報が管理者でもわからないようになり、登録者に一方的に情報が

—自治会のことがよくわかった、協力したくなった—

発信される仕組みになっているため、個人情報問題も、メッセージのやり取りに関するトラブルも防ぐことができます。加えて、ラインを採用した経緯について、「他のアプリも検討したが、ラインは既に使用している人が多く、新たなアプリをダウンロードする手間が省ける」と坂本さんは話します。また、公式ラインにはメニューも設け、「旗二だより」をはじめとする回覧物を閲覧できる機能や、防災士でもある坂本さんが作成した地区の防災マップが確認できる機能も備わっています。

当初はスマホを持っていない人やラインを利用していない人もいましたが、公式ラインが盛り上がるにつれ利用者も増え、登録者は約8割に上ります。旗二公民館に無線のインターネット環境を整備し、有志によるスマホ教室を開催するなどして普及に取り組み、「70代、80代でも利用する人が増



敬老会でも 安否確認に利用

旗二ラインのおかげでライン利用者が増え、敬老会でも毎朝会員に個別でラインを送って、安否確認も兼ねたコミュニケーションを楽しんでいます。既読が付かなかったり、返事が何日も返ってこなかったりした時は、様子を見に行っています。

老人クラブ
東すみよし会
西坂さん



聴覚障がい者にも 情報伝わりやすい

私は「西部ろうあ仲間サロン会」と交流しており、旗二ラインを見せたところ、とても好評で、坂本さんの協力のもと、サロン会でも公式ラインを立ち上げたほどです。ラインだと、情報をスマホで確認できるので、聴覚障がいのある方にも伝わりやすいと思います。

意東さん



富田さん
疑問に思ったこと
には意見しながら、
楽しく活動し
ています

楽しく活動しています！
自治会役員の声

水川さん
楽しい行事を実施
する一方、会計と
して財布をしま
り管理しています！

平谷さん
調理師の資格を生
かし、行事や集ま
りで料理を振る
舞っています

小谷さん
高校生役員とし
て、行事に友だち
と参加して盛り上
げています！

門脇さん(写真左)
木代さん(写真右)
自治会内で赤ちゃんが
生まれた家庭を旗二だ
よりで紹介し、お祝い
を渡しています

えた」と坂本さんは言います。
ラインの登録者には回覧板を省
略する一方で、登録していない住
民には今までどおり回覧板を回し
ています。誰が回覧が必要かを把
握する役割は班長が担っており、
班長には自治会費が免除されてい
ます。坂本さんは、「全員がライ
ンに登録しなくても、回覧を回
す軒数が減るだけで負担軽減にな
る」と話します。また、ラインを
登録していない人でも回覧物をい
つでも見られるように、地区公民
館と公園に設置された掲示板に、
回覧物をラミネート加工して掲示
しています。
三原会長は、ラインで自治会の
情報が個人に直接届くようにな
り、「今までひとつだったのが、

広報紙が読める！米子市ライン

米子市の公式ラインでは、市報をはじめ、さまざまな広報紙がスマホで読めるメニューを備えています。市役所からの大事なお知らせや緊急情報なども随時配信しますので、ぜひご登録ください！
圏秘書広報課 (☎ 23-5372)



「旗二講演会」の様子を動画で配信します！

2月23日に実施された旗ヶ崎二区の改革についてご紹介した講演会の様子を動画で配信します。(3月1日以降公開予定) 自治会の加入や活性化のご相談など、お気軽にお問い合わせください。
圏地域振興課 (☎ 23-5371)



自分ごとになり、自治会のサポーターが増えた」と感じているそうです。また、「やってみて、うまくいかなければやめればいい」と、話し合いで決まったことはすぐに実行することを心がけながら、「皆さんの意見を積極的に取り入れながら、旗二の良い流れを、大きく育てていきたい」と抱負を語ります。「楽しくないと旗二じゃない」を合言葉に、今後も楽しく活動を続けていきます。